

【永平寺町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

永平寺町では、令和2年度に「永平寺町教育大綱」を改定し、重点施策の一つとして「確かな学力」の育成を掲げています。その中で、国際感覚を持った人材を育成するために、英語教育の充実や ICT 活用など、今日的課題に対応した取り組みを、時代に合わせて柔軟に進めていくことを目標としています。

この目標の達成に向けて、学校や生徒の実情を踏まえた上で、ICT を活用した新たな教材やアプリ、学習活動を積極的に導入し、児童生徒の資質・能力の育成を推進していきます。

2. GIGA 第1期の総括

(1) 経緯と現状

本町では、GIGA スクール構想に基づき、令和2年度および令和3年度に全小中学校の児童生徒に1人1台端末を整備しました。この5年間で学習用端末を接続するための ICT 環境の整備を進めるとともに、教育現場での活用を推進してきました。

(2) ICT 施策の実施内容

- ・ネットワーク環境の強化：令和6年度に全小中学校においてネットワークアセスメント調査を実施しました。その結果を基に、ネットワークの安定性と速度の向上を図るため、令和7年度に各学校の Wi-Fi 環境を整備する予定です。
- ・教育支援設備等の導入：各教室に大型ディスプレイを整備し授業の質の向上に努めました。また、GIGA スクール運営支援センター員を配置し、タブレットの不具合対応や教員に対する ICT 研修等を行い、端末の利活用促進に努めました。
- ・学習活動の充実：児童生徒が、情報収集や意見共有、発表のツールとして日常的に端末を利用するようになり、より充実した学習活動が行えるようになりました。

(3) 課題

- ・授業や校務での ICT 活用頻度について、教職員間ではらつきが見られること
- ・毎日端末を持ち帰っている学校は3割程度にとどまっており、家庭学習での活用が伸び悩んでいること
- ・AI ドリル等のデジタル教材の活用が進んでいないこと

3. 1人1台端末の利活用方策

永平寺町では、GIGAスクール構想第2期において、端末を更新し、児童生徒1人1台の端末環境を引き続き維持します。その効果的な利用促進に向けて、以下の取り組みを進めています。

また、第1期で明らかになった課題を踏まえ、端末の利用や運用の質を向上させるための具体的な対策と改善策を検討していきます。

(1) 1人1台端末を積極的に活用するために

本町では、教員が積極的にICT教育に取り組んでおり、1人1台端末についてもほぼ毎日授業で活用されています。今後も、教員を対象としたICT活用指導方法の研修を実施し、教員全体の指導力向上を目指します。また、端末の持ち帰りに課題があることも明らかになつたため、AIドリルの導入など家庭学習の充実にも効果的な支援を検討しています。

(2) 個別最適な学びの充実のために

1人1台端末を活用することで、基礎学力の定着だけでなく、個々の児童生徒の学習記録データを可視化し、一人ひとりの特徴にあった学習指導を進めています。また、児童生徒が個性や能力に応じて自ら学習目標を設定することや、課題を見出し自発的に学習する意識の形成を促します。

(3) 協働的な学びの充実のために

探究的な学習や体験活動を通じて、多様な価値観を認め合い、協働することの重要性を学んでいます。1人1台端末を活用することで、多様な意見やアイデアをスピーディーに共有したり、共同作業で発表資料を作ったりしながら、コミュニケーション能力や豊かな表現力を養います。

(4) 全ての児童生徒の学びを保障するために

全ての児童生徒が平等に教育を受けられるよう、不登校児童生徒に対しても自宅から授業に参加できる仕組みの整備や、AIドリルを活用した多様な学習機会の提供に取り組んでいきます。さらに、心身の健康観察アプリの導入を検討し、児童生徒の健康状態の把握やいじめの未然防止に努め、安心して過ごせる学校環境を整備していきます。